

# 武庫川水系河川整備計画 進行管理報告書（案） [平成28年度版] の概要

～ 平成27年度の主な取り組み ～

平成28年9月14日  
兵庫県

1

## 目次

### 武庫川水系河川整備計画 進行管理報告書(案)の概要 ～平成27年度の主な取り組み～

1. 進行管理方法（PDCA）の概要
2. 進行管理報告書一覧表
3. 各対策の概要図（河川対策、流域対策、減災対策）
4. 平成27年度取り組み状況
  - 河川対策
  - 流域対策
  - 減災対策
  - 正常流量の確保
  - 動植物の生活環境の保全・再生
  - 流域連携

2

# 1. 進行管理方法（PDCA）の概要

## 1-1. 進行管理に関する河川整備計画の記述

<武庫川水系河川整備計画(平成23年8月)P.80 抜粋>

本計画の着実な推進を図るため、PDCAサイクルの考え方に基づいた進行管理、フォローアップ委員会(懇話会)の設置を行うとともに、地域住民等との情報の共有化を図る。

### (1) 河川整備計画の進行管理

PDCAサイクルの考え方に基づいた進行管理を図る仕組みを導入することとし、どのような進行管理の仕組みが可能か検討を行ったうえで、下記のフォローアップ委員会(懇話会)の意見を聴き、具体化を図る。

### (2) フォローアップ委員会(懇話会)の設置

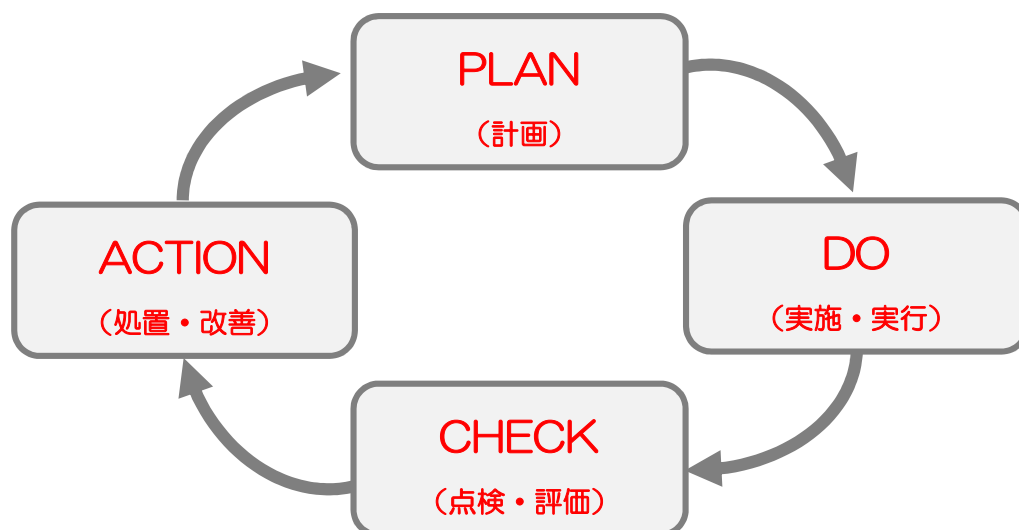
新たに、学識経験者と地域住民で構成するフォローアップ委員会(懇話会)を設け、施策や事業の実施状況等を、定期的に委員会(懇話会)に報告し意見を聴く。

また、PDCAサイクルによる進行管理の仕組みが具体化した段階で、施策や事業の実施状況の点検・評価を行い、それをフォローアップ委員会(懇話会)に報告することで説明責任を果たすとともに、委員会(懇話会)から意見を聴いて整備計画の次なる進行と改善につなげていく。

3

## 1-2. PDCAサイクルとは

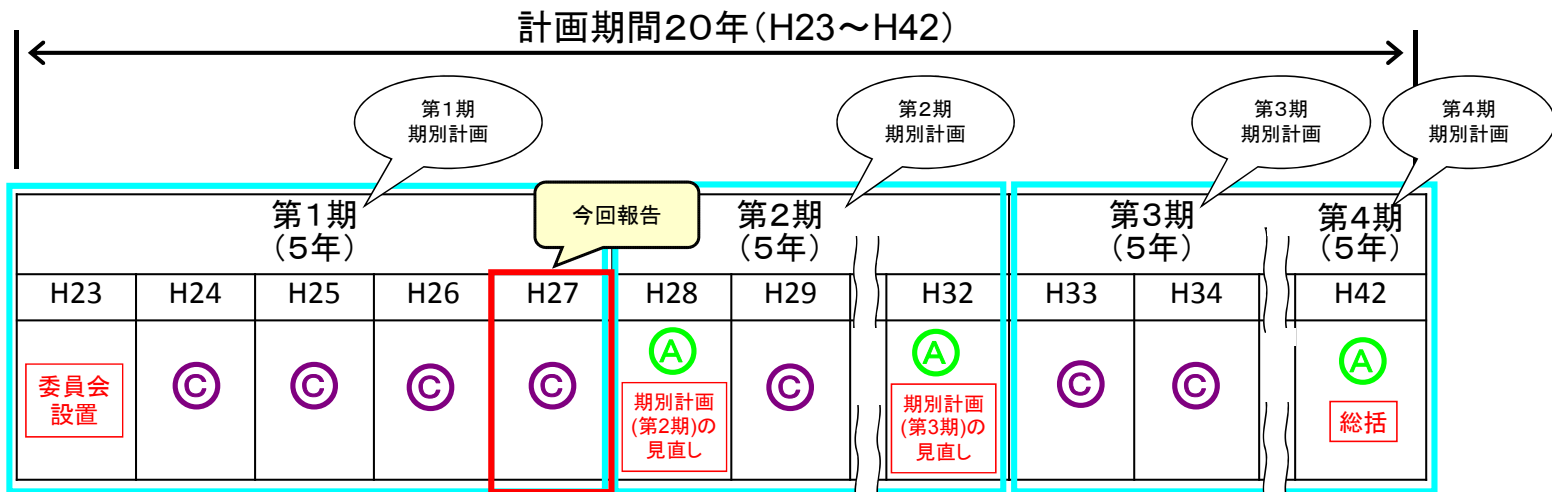
PDCAサイクルとは、計画(Plan)→実施・実行(Do)→点検・評価(Check)→処置・改善(Action)を繰り返しながら、計画の継続的な改善を図る進行管理の手法。



4

# 1-3. 武庫川水系河川整備計画の着実な推進を図るしくみ

- ① 計画期間20年(H23～H42)を4分割して5年を1サイクルとし、5年度毎に期別計画を定め、これを目標として取り組みを推進する。
- ② 定期的に、委員会(懇話会)の意見を聴いて、期別目標の達成に向けての微修正を加えながら各年度の取り組みを行う。 ... **C** Check
- ③ 5年に1度検証を行い、その結果を次の期別計画に反映する。 ... **A** Action



# 1-4. 進捗管理 (PDCA) の具体的進め方

河川整備計画より抽出した実施目標毎(全22組)に、**進捗管理点検票を作成し進捗管理**。

## 進捗管理点検票の構成

河川整備計画の事項・項目	実施目標および実施施策の具体的内容を記入	実施目標	
施策の概要			
1. 期別計画 (P)	1. 期別計画 (P)		2. 実績 (D)
河川整備計画の事項・項目	取組方針	点検指標	実績 (D)
		第1期 (H23～H27)	第2期 (H28～H32)
		第3期 (H33～H37)	第4期 (H38～H42)
		H23	H24
		H25	H26
		H27	H27
第1期～第4期の計画を期別に記入		2. 実績(D) 毎年度の実績を記入	
3. 点検・評価 (C) (第1期 [H23～H27])			
点検・評価 (C) H23		点検・評価 (C) H24	
点検・評価 (C) H25		点検・評価 (C) H26	
点検・評価 (C) H27		点検・評価 (C) H27	
3. 点検・評価(C) 毎年度の点検結果を記入			
4. 改善 (A) (第2期 [H28～H32] に向けて)			
4. 改善(A) 5年ごとの改善方策を記入		第2期(H28～H32)の期別計画への反映	

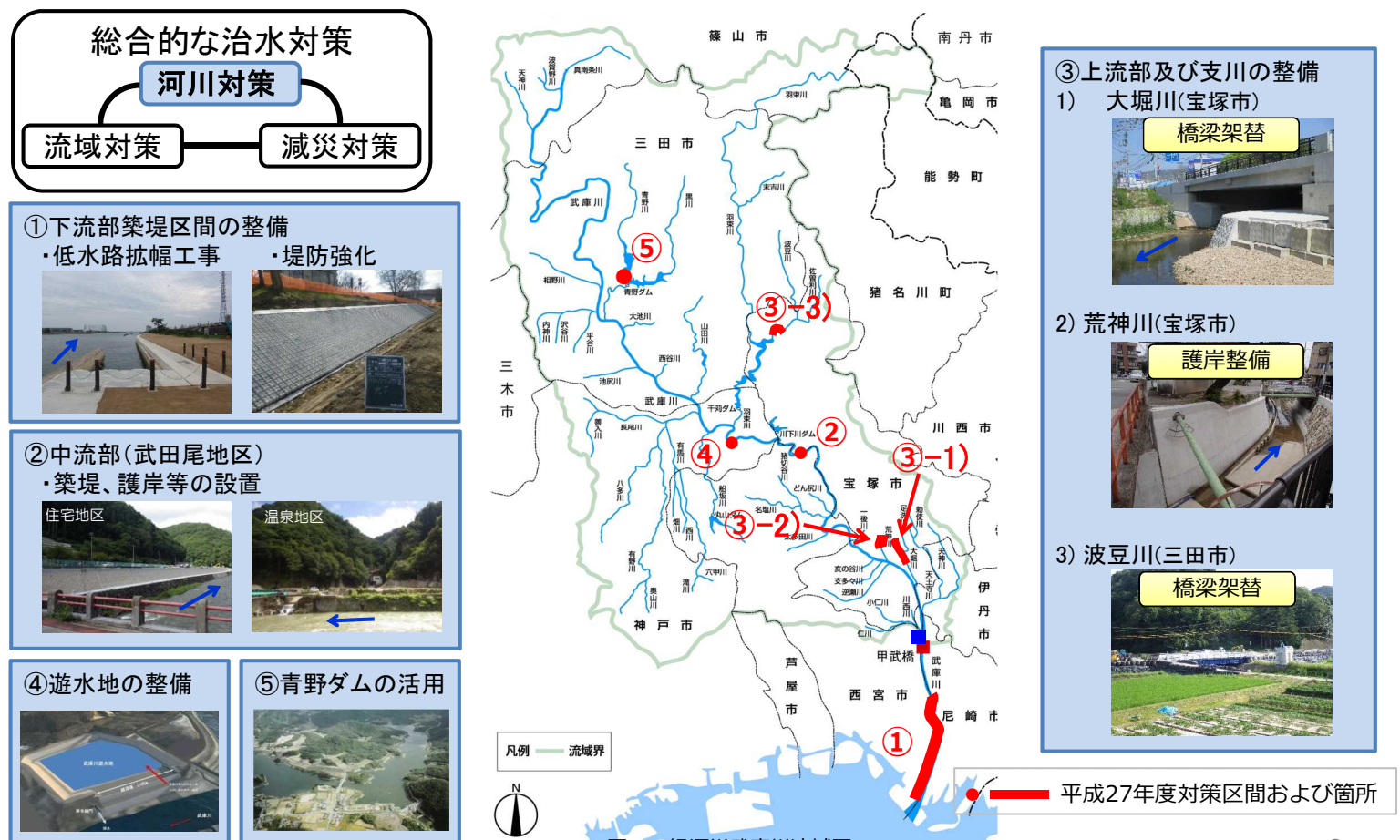
## 2. 進行管理報告書一覧表

管理番号	大項目(対策名)	内容
1	河川対策	下流部築堤区間
2		下流部掘込区間
3		中流部
4		上流部及び支川
5		堤防強化(支川)
6		堤防強化(下流部築堤区間)
7		遊水地、青野ダム活用
8		洪水調節施設の継続検討(千苅ダム治水活用検討)
9	流域対策	流域対策
10	減災対策	減災対策
11	正常流量の確保	

管理番号	大項目(対策名)	内容
12	緊急時の水利用	
13	健全な水循環の確保	
14	動植物の生活環境の保全・再生	2原則の適用
15		天然アユが遡上する川づくり
16	良好な景観の保全・創出	
17	人と河川の豊かなふれあいの確保	
18	水質向上	
19	維持管理	
20	流域連携	
21	モニタリング	
22	フォローアップ	

7

### 3-1. 各対策の概要図 ①河川対策

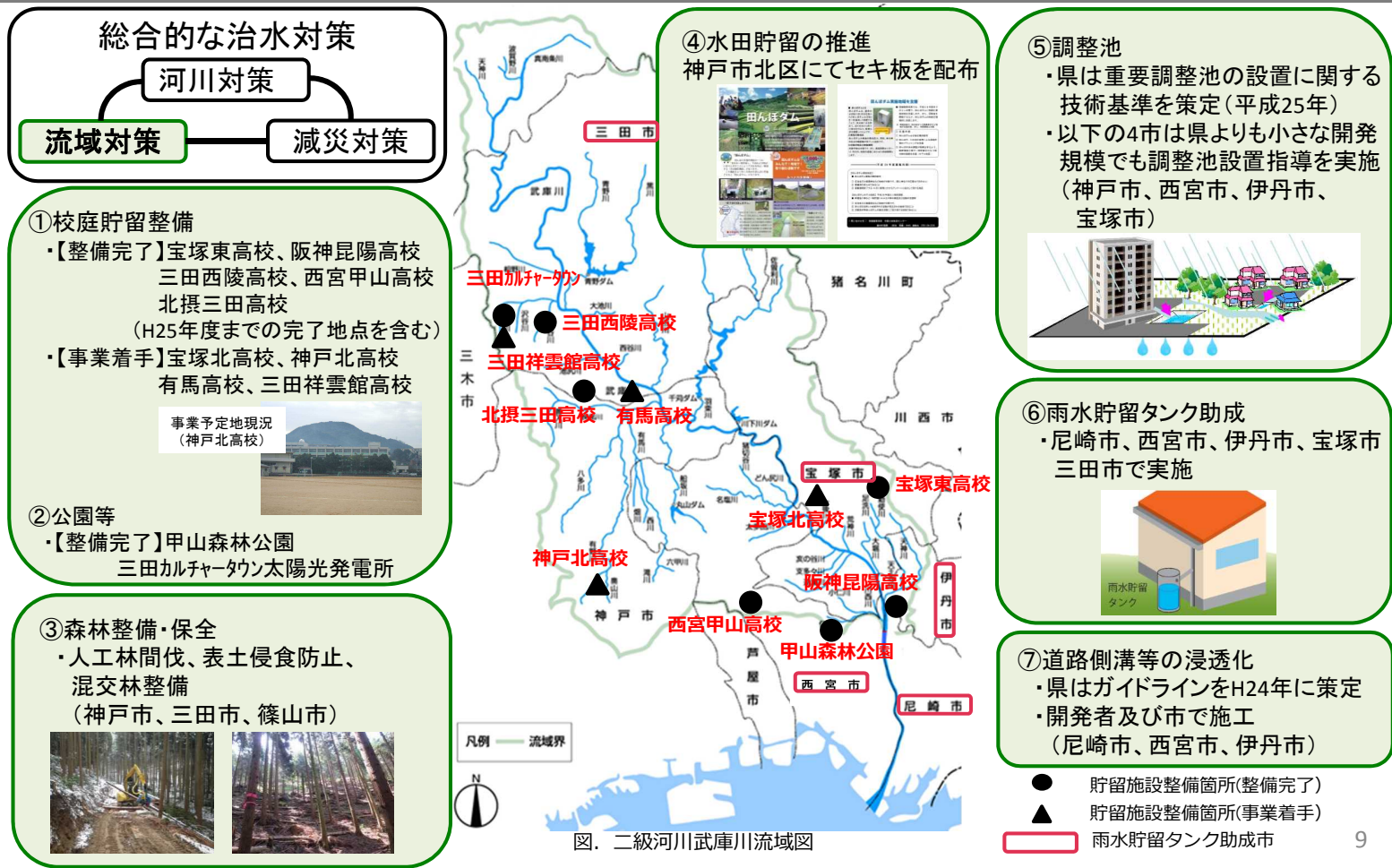


凡例 — 流域界

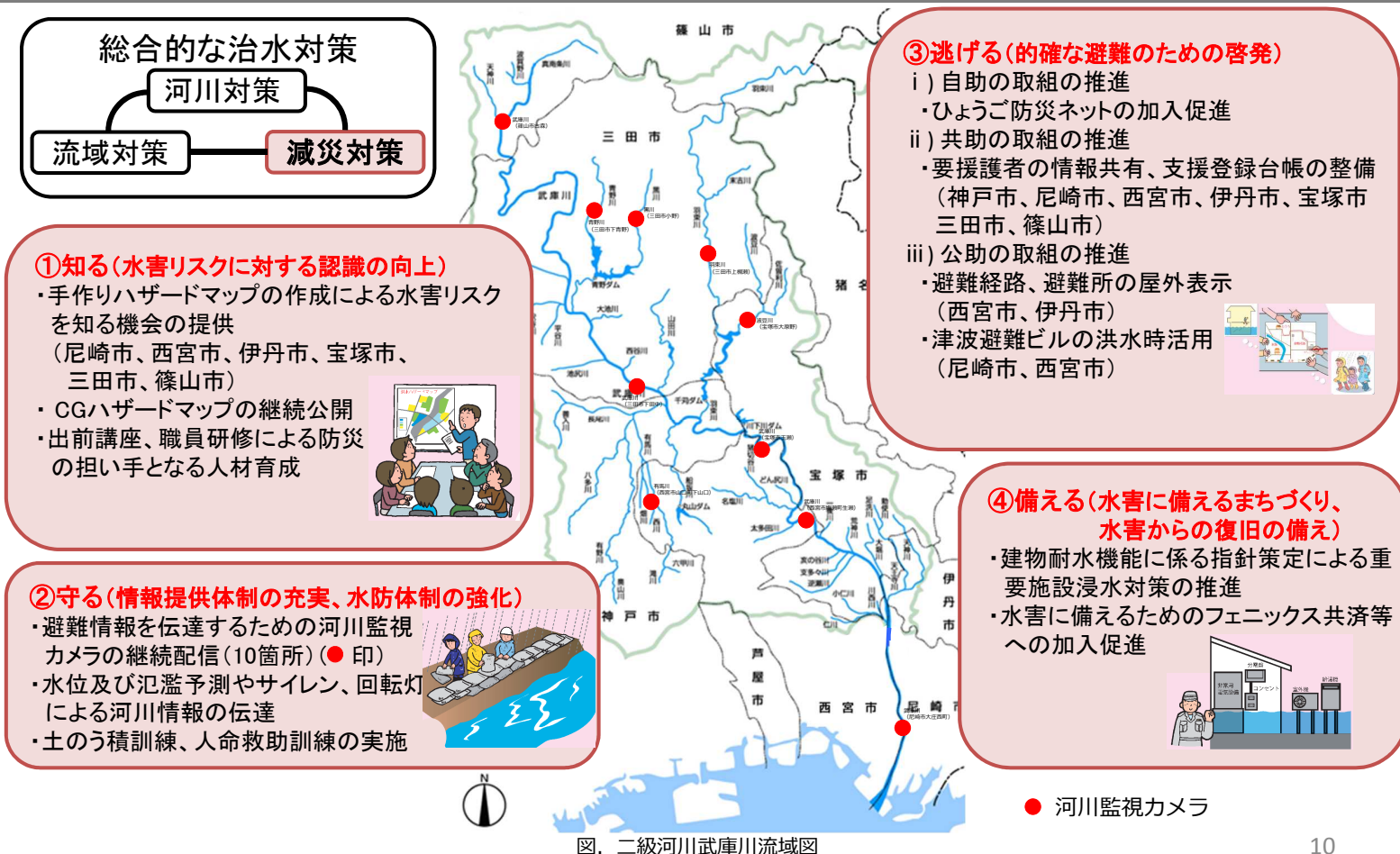
● 平成27年度対策区間および箇所

8

## 3-2. 各対策の概要図 ②流域対策



## 3-3. 各対策の概要図 ③減災対策



**実施目標** 戦後最大洪水を安全に流下させる。

**Plan** 【第1期計画】

- ・下流部築堤区間（河口～JR東海道線橋梁下流）
- ・低水路拡幅・高水敷掘削
- ・L=1,500m



**Do** 【H27年度実績】

矢板護岸・低水路拡幅工事 右岸(西宮市側)L=704m[完了]、他約400m [着手済]

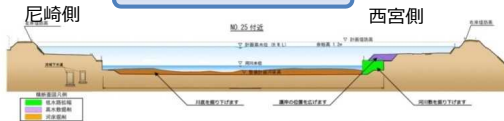
施工状況



施工完了



河川整備断面図



**Check** <低水路拡幅>

進捗	1500m	第1期対策予定延長 (H23～H27)
	1105m	平成27年度迄着手延長
	704m	平成27年度迄完了延長

既設矢板の引抜き撤去作業において、周辺家屋への振動に配慮した施工により予定より時間を要し、目標が達成できていない。

**Action**

- ・既設矢板の撤去を引抜きから切断に工法変更してからは順調に進んでおり、低水路拡幅については当初予定どおりH32年度完了を目指し、引き続き進捗を図る。

**実施目標** 戦後最大洪水を安全に流下させる。

**Plan** 【第1期計画】

- ・下流部掘込区間（仁川合流点～名塩川合流点）
- ・左岸拡幅 L=0.5km



**Do** 【H27年度実績】

- ・地元及び道路管理者との協議を継続
- ・用地測量を実施



**Check**

- ・地元合意が得られるよう、継続的に協議を進める。
- ・円滑な事業執行に向けて、道路管理者との協議を継続して実施する。

**Action**

- ・事業用地確保に向け、引き続き地元協議、交渉を行うとともに、一定範囲の用地が確保できた箇所から護岸工事に着手し、事業推進を図る。

**実施目標** 戦後最大洪水を安全に流下させる。

**Plan** 【第1期計画】

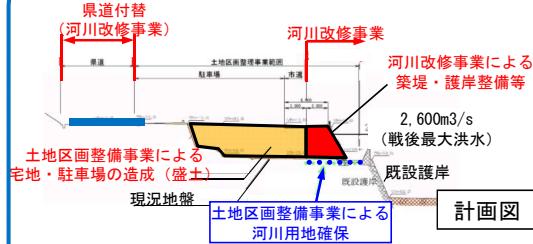
- ・中流部（名塩川合流点～羽束川合流点）
- ・護岸整備等  
〔住宅地区〕 L=250m  
〔温泉地区〕 L= 90m



**Do Check** 【H27年度実績】

住宅地区施工状況

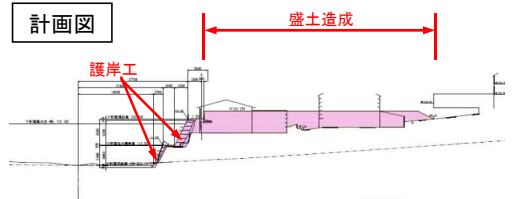
- ・本川護岸工事完成（僧川合流点除く）



進捗	250m	第1期対策予定延長 (H23～H27)
	250m	平成27年度対策延長

温泉地区施工状況

- ・用地補償契約、移転完了。
- ・河川改修工事着手。



進捗	250m	第1期対策予定延長 (H23～H27)
	0m	平成27年度対策延長

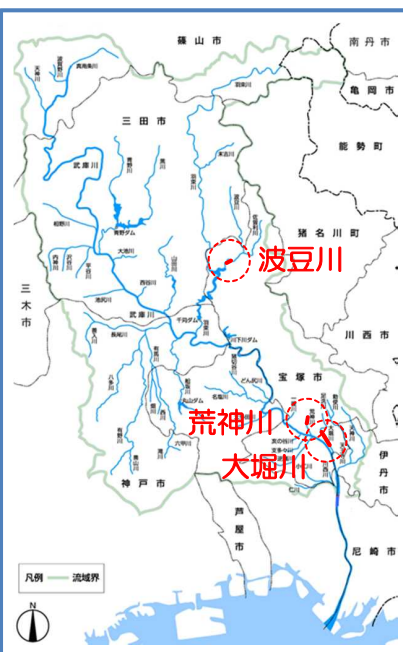
**Action**

- ・〈住宅地区〉 土地区画整理組合と連携しつつ、H29年度に工事を完成させる。
- ・〈温泉地区〉 効率的、効果的な発注計画・施工計画によりH30年度に工事を完成させる。

**実施目標** 各河川の目標流量を安全に流下させる。

**Plan** 【第1期計画】

- ・上流部（羽束川合流点～本川上流端）及び支川
- ・河道掘削、護岸工、橋梁架替等



**Do** 【H27年度実績】

荒神川（宝塚市）  
：護岸工 L=約50m

波豆川（宝塚市）  
：橋梁架替

大堀川（宝塚市）  
：橋梁架替



**Check**

進捗	<荒神川> 第1期対策予定延長 (H23～H27) 0.2km 平成26年度末迄対策延長 0.25km 平成27年度対策延長 0.05km	<波豆川> 第1期対策予定延長 (H23～H27) 0.3km 0km 平成27年度末迄対策延長	<大堀川> 第1期対策予定延長 (H23～H27) 0.3km 平成27年度末迄対策延長 0.01km
----	--	---	---

- ・その他、関係機関協議、地元協議を継続して実施。
- ・第1期の目標に届いていない。（荒神川、大池川で目標を達成。）

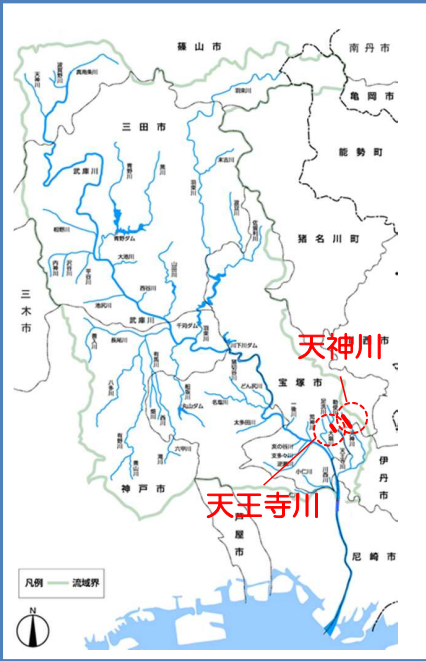
**Action**

- ・効果的、効率的な予算充当により事業推進を図る。（まとまった工区等に集中投資し、事業効果を促進する。）

**実施目標** 洪水による浸透や侵食に対して十分な安全性を確保する。

**Plan** 【第1期計画】

- 【天王寺川】（伊丹市, 宝塚市）
  - ・堤防強化 L=0.2km
- 【天神川】（伊丹市, 宝塚市）
  - ・堤防強化 L=1.4km



**Do**

天王寺川:ドレーン工

- ・天王寺川：H26年度までに工事完了

天神川:表のり面被覆工

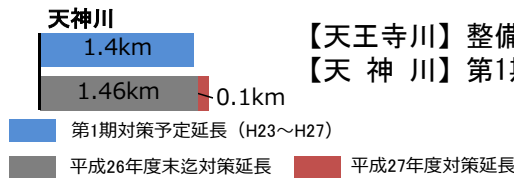
【H27年度実績】

- ・天神川：表のり面被覆工による浸透対策 L=0.1km完了



**Check**

進捗



【天王寺川】整備計画予定区間はH26年時点で完了。  
【天神川】第1期計画区間の整備を完了した。

**Action**

- ・天神川の残区間（国道176号以北）においては、施工計画を見直す等、より効率的な工事に努め、第3期の工事完了を目指し事業推進を図る。

**実施目標** 洪水による浸透や侵食に対して十分な安全性を確保する。

**Plan** 【第1期計画】

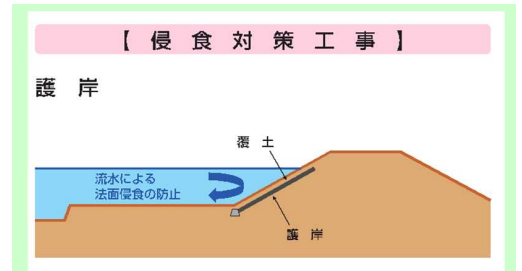
- 下流部築堤区間の堤防強化（南武橋～仁川合流点）
  - ・浸透対策 L=6.1km
  - ・侵食対策 L=0.7km



**Do** 【H27年度実績】

- ・浸透対策：約0.1km完了[西宮市上大市]
- ・侵食対策：約0.1km完了[尼崎市武庫川町]

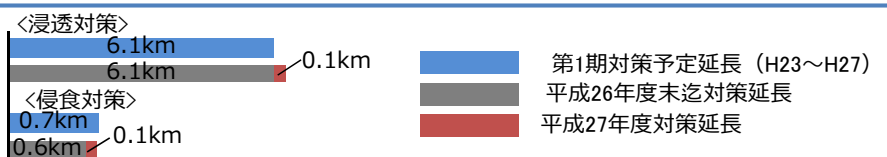
ブロックマットによる侵食対策



堤防表のり面（水が流れている側のり面）に護岸（ブロックマット等）を整備し、洪水流によりのり面が侵食されることを防ぎます。

**Check**

進捗



**Action**

- ・流下能力の低い下流部築堤区間の安全性向上は喫緊の課題であり、その中で堤防強化対策については、順調に工事を実施し、第1期の目標を達成した。
- ・引き続き、浸透・侵食対策を積極的に推進し、第2期での完了を目指す。

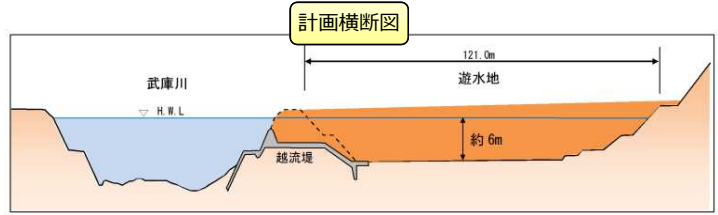
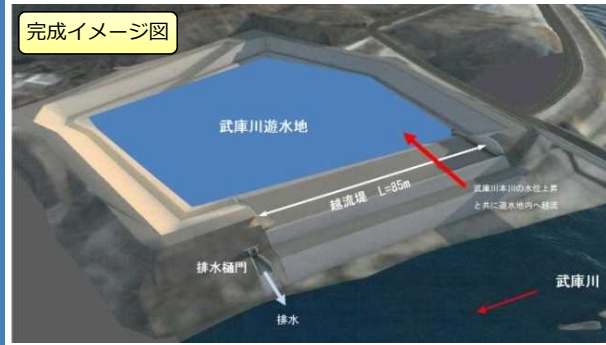


**実施目標** 遊水地の整備を進めることによりこれまで以上の洪水調節を行う。

**Plan** 【第1期計画】

- ・ 武庫川遊水地の工事着手

**Do** 【H27年度実績】 武庫川遊水地：掘削工事に着手



**Check**

＜掘削土量＞

進捗	全体	約10万m <sup>3</sup>
	H27年度	約2万m <sup>3</sup>

- ・ 第1期の目標である掘削工事に着手。

**Action** ・ 早期完成（H30年度）に向け、より一層の事業推進を図る。

**実施目標** ・ 青野ダムの洪水調節容量を拡大させることによりこれまで以上の洪水調節を行う。（管理番号7）  
 ・ さらなる安全度の向上に向けて、利水ダムの治水活用を検討する。（管理番号8）

**Plan** 【第1期計画】

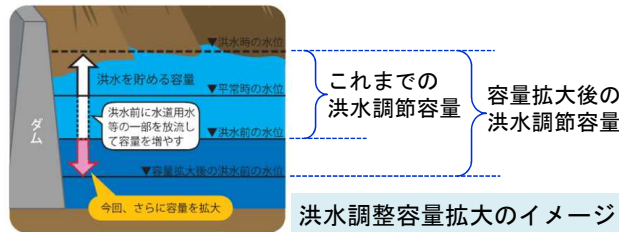
- ・ 青野ダムの活用；事前放流試行操作の継続



**Do** 【H27年度実績】

青野ダム

H27年度は事前放流は未実施  
 (H23～H27に累計6回事前放流を実施)



**Check**

- ・ 事前放流量20万m<sup>3</sup>から40万m<sup>3</sup>の拡大に向けて利水事業者との協議に必要な試行回数10回を確保するため、引き続き、試行操作を継続する。

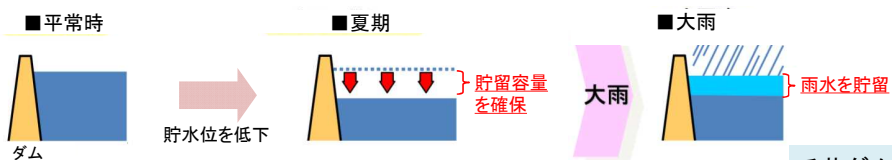
**Action**

- ・ 青野ダムの事前放流については、渇水リスクや下流部の水位上昇への影響等の検証が必要であり、データ蓄積に努めていく。

**Topix** 千苅ダムの活用

事前放流による治水活用の検討

現在運用している洪水期制限水位から夏期にさらに低下させた水位を維持して貯留容量を確保



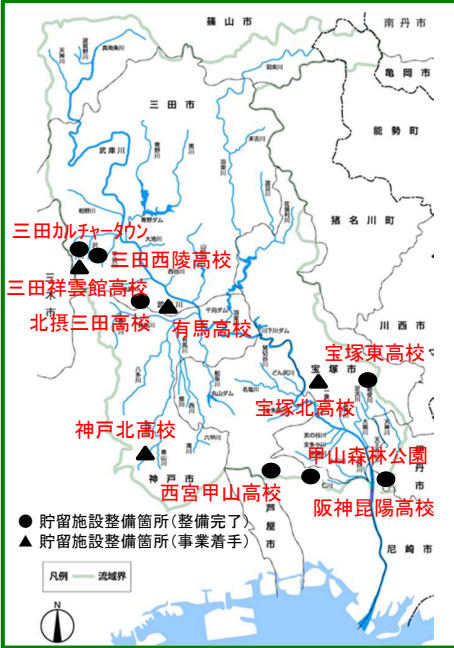
千苅ダム活用のイメージ

- ※ 貯水池内の水質に影響を及ぼさないよう時間をかけて徐々に水位を低下させる
- ※ 治水活用による水質影響や水量確保（バックアップ）の方法について検討中

**実施目標** 学校、公園等を利用した貯留施設等を設置し、流出抑制を行う。

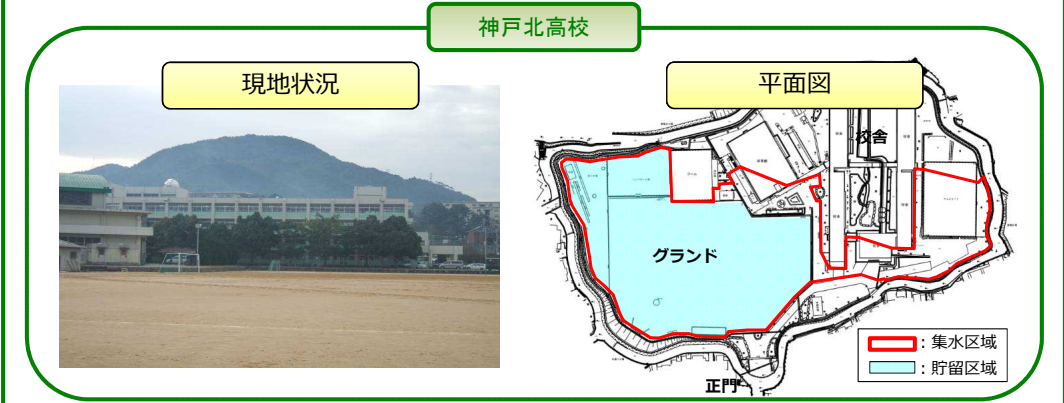
**Plan** 【第1期計画】

- ・学校、公園、ため池等を利用した貯留施設等の整備
- ・貯留量 約5.7万m<sup>3</sup>着手 (7箇所着手)



**Do** 【H27年度実績】

- ・H27年度：0.2万m<sup>3</sup>着手 (累計2.0万m<sup>3</sup>、公園1箇所・学校9箇所・その他1箇所の計11箇所着手)



**Check**



着手箇所数は目標以上であるが、貯留容量が未達成。

**Action**

- ・流域対策推進においてPR効果が大きい校庭貯留を県市で更に取り組む。
- ・1箇所あたりの貯留量が確保されやすいため池の整備を含め、貯留施設の整備に引き続き取り組んでいく。

雨水貯留施設の洪水調整効果

**概要** 平成27年7月の台風第11号の豪雨時に、県立阪神昆陽高校(伊丹市)において、貯留効果を発揮した。



**H27.7台風第11号豪雨の状況**

武田尾等に大きな被害をもたらした平成26年8月の台風11号と同規模の豪雨



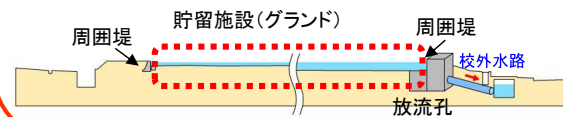
観測所: 伊丹(伊丹市)	時間最大	24時間最大	最大貯留量
平成26年台風第11号 (8月9日~8月10日)	34mm	148mm	840m <sup>3</sup>
平成27年台風第11号 (7月18日~7月18日)	20mm	271mm	730m <sup>3</sup>

**貯留効果**

貯留施設の概要

グラウンドに周囲堤を設置し、雨水を一時的に貯留

- ・最大貯留量:約1,130m<sup>3</sup> ⇨ 家庭用風呂(0.3m<sup>3</sup>) 3,770杯分に相当
- ・最大貯留水深:約36cm(グラウンド)



H27.7台風第11号豪雨での事業実績

平成27年7月の台風第11号では、家庭用風呂2,430杯分に相当する雨(約730m<sup>3</sup>)を一時的に貯留した。



× 約2,430杯分相当を貯留!

**貯留状況 (阪神昆陽高校)**



**実施目標** 流域市等と連携して取り組む、様々な流出抑制対策（森林）

**Plan** 【第1期計画】 ■森林保全と公益的機能向上

- ・人工林の間伐等（関係機関連携・住民連携）
- ・急傾斜地にある間伐対象人工林の表土侵食防止対策
- ・高齢人工林の広葉樹林への一部誘導（混交林整備）
- ・砂防・治山事業による流木・土砂災害防止対策

**Do** 【H27年度実績】人工林の間伐や表土侵食防止、混交林整備等を進めた。

高性能林業機械による搬出間伐



緊急防災林（斜面对策）



間伐・作業道の開設



H27年度整備実績

人工林間伐等	361ha
急斜面地表表土侵食防止対策	274ha
混交林整備	—※

※H27新規着手はないが、H26以前に着手した箇所作業道の開設、広葉樹植栽は引き続き実施。

**Check**

- ・混交林整備は100ha着手（第1期計画）に対してH26年度までに120ha着手し、目標を達成した。
- ・砂防事業・治山事業においても、着手箇所数が、目標を達成した。

**Action**

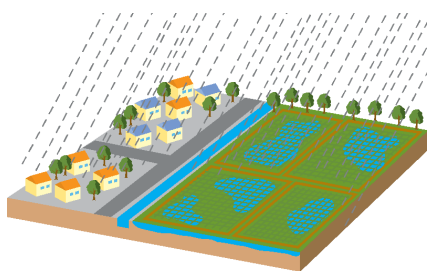
- ・森林保全は、今後も人工林の間伐や表土侵食防止を促進するとともに、混交林整備を進め、水源涵養機能と土砂流出防止に努めていく。
- ・土砂崩壊や流木の流出を防止する砂防・治山事業は、第2次山地防災・土砂災害対策5箇年計画（H26.3）に基づき、引き続き整備に取り組む。

**実施目標** 流域市等と連携して取り組む、様々な流出抑制対策（水田）

**Plan** 【第1期計画】

水田での雨水貯留による流出抑制

水田貯留



**Do** 【H27年度実績】

- ・神戸市北区道場町（八多川）等においてセキ板を配布（約20ha）

田んぼダム実施地域を支援

- 田んぼダムとは  
田んぼダムは、通常のせき板に切り欠きを設けた「田んぼダムせき板」を一枚追加して設置することで、流水時に水を貯めて、切り欠きから徐々に排水を行なう、簡単な洪水調整システムです。
- 実施対象地区  
田んぼダムの実施対象地区は、原則、排水溝のあるほ場整備が完了した地区です。
- 対象作物及び実施期間  
対象作物は水稲です。また、実施期間は5月～10月の内、地域の営農に合わせた取組期間とします。
- 西播磨農政局では、平成28年度までの3ヶ年間で、田んぼダムに取組む実施地域を支援します。また、研修会を開催するなど、田んぼダムの取組を積極的に支援します。
- ※ 実施地区は、自治会または営農単位など地域が支援対象。また、未整備地も対象

- 支援内容
- ① 田んぼダムせき板を無料配布
- ② 田んぼや、ため池の活用による流域対策のプランニングを支援
- ③ 田んぼの洪水調整が発揮出来るよう、畦畔補修工事や一時貯留を行なう排水口の設置を支援（モリス地区）

＜平成26年度募集内容＞

- 【田んぼダム実施地区】
- 田んぼダムせき板の無料配布
- ① 自治会又は営農単位など地域が対象です。（個人単位での応募はできません）
- ② 整備済の田んぼであること
- ③ 実施期間終了する10月に管理にかかると協力に頂ける地区
- 【田んぼダムモリス地区】平成26年度は3地区程度
- 詳細工事など一時貯留にかかる工事の実施及び活動の支援等
- ① 自治会又は営農単位など地域が対象です。
- ② 田んぼを活用した地域内外の活動が見込まれる地域であること
- ③ 活動取材等田んぼダムの普及活動にご協力頂ける地域であること

＜問い合わせ先＞ 西播磨農政局 支那土地改良センター  
農村計画課（田舎 築港・木村）連絡先 0791-58-2218

水田貯留に係る広報チラシ（H24年度作成）

**Check**

- ・武庫川流域においても水田貯留実施を支援。

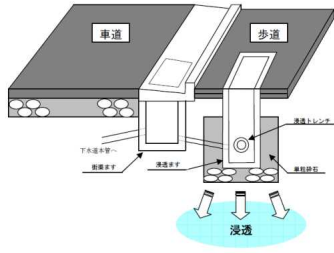
**Action**

- ・貯留に関する農業者の不安（畦や作物への影響）が課題であるが、関係部局等と連携し更なる普及を図る。

**実施目標** 流域市等と連携して取り組む、様々な流出抑制対策（各戸貯留等）

**Plan** 【第1期計画】 その他の雨水貯留・浸透の取り組み

道路側溝等の浸透化



浸透側溝設置ガイドライン（改訂版）に基づき浸透化を推進。



公園における舗装の浸透化（神戸市）

各戸雨水貯留タンク

■西宮庁舎

①雨水タンクは庁舎入口横にあります。



県ではPR用雨水貯留タンクを県庁舎に設置し、普及啓発を図っている。



②たまった水をジョウロに移し替えて・・・



③お花に水やり。

**Do** 【H27年度実績】

- ・ 公共施設での貯留・浸透施設の設置：
  - 県営住宅で設置推進 [累計1箇所]
- ・ 雨水貯留タンクの設置：
  - 助成基数84件 [累計1,305件]
- ・ 道路側溝等の浸透化：
  - 約4.8km [累計171km]
- ・ 透水性舗装：
  - H16年より標準仕様として適用

**Check**

- ・ 各戸貯留タンクの助成基数は着実に実績が増加。
- ・ 浸透施設整備（道路側溝・宅内排水等）についても、取り組み延長が着実に増加。

**Action**

- ・ 各戸貯留タンクは、今後も広報媒体等を活用した普及啓発を図りながら、引き続き推進していく。
- ・ 浸透施設整備（道路側溝・宅内排水等）についても、関係部局と連携し、引き続き推進していく。

**実施目標** 計画規模を上回る洪水が発生した場合の洪水被害を軽減させる。

**Plan** 【第1期計画】

水害リスクに対する認識を向上させる ～知る～

具体的施策：①水害リスクを知る機会の提供 ②ツールの整備 ③防災の担い手の人材育成

**Do** 【H27年度実績】

①水害リスクを知る機会の提供

①我がまちを歩く  
体験型講座の開催



尼崎市

まち歩きの実施状況

まち歩き体験型講座等の  
開催実績：25回（流域市計）

②ツールの整備

②住民主体による  
手作りハザードマップ作成



篠山市

手作りハザードマップの作成

H27実績：28地区（流域市計）

③防災の担い手の人材育成

③住民を対象とした  
防災研修



宝塚市

出前講座の実施状況

防災リーダー講座・  
出前講座・研修会等の  
開催実績（H27）

県：51回 流域市計：168回

**Check** 水害リスクに対する認識の向上に向け、県・市とも様々な取り組みにより知る機会の提供に努めた。

**Action** 今後も県・市ともに水害リスクの認識向上及び人材育成の推進に努めていく。

**実施目標** 計画規模を上回る洪水が発生した場合の洪水被害を軽減させる。

**Plan** 【第1期計画】

情報提供体制の充実と水防体制の強化を図る ~守る~

具体的施策：①避難情報の伝達 ②河川情報の伝達 ③水防体制の強化

**Do** 【H27年度実績】

①避難情報の伝達, ②河川情報の伝達

③水防体制の強化

ケーブルTV局との連携 (神戸市)

緊急告知ラジオの購入補助 (西宮市)



災害対策本部立ち上げ訓練 (三田市)

水防工法訓練 (伊丹市)

防災行政無線による市民向けの行政告知放送を、ケーブルテレビ会社の提供する端末に再送信

H27年度実績：477台

実践的な訓練の実施  
県：1回 流域市計：16回

**Check** 県・市とも様々な取り組みにより、情報提供体制の充実と水防体制の強化を図った。

**Action** 今後も県・市ともに住民に提供する防災情報のさらなる充実に努めていく。

**実施目標** 計画規模を上回る洪水が発生した場合の洪水被害を軽減させる。

**Plan** 【第1期計画】

的確に避難するための啓発を進める ~逃げる~

具体的施策：①自助の取組の推進 ②共助の取組の推進 ③公助の取組の推進

**Do** 【H27年度実績】

①自助の取組の推進

ひょうご防災ネット加入促進

表、「ひょうご防災ネット」の加入状況

	新規登録件数	目標
平成26年度	128,000件	120,000件/年
平成27年度	92,000件	120,000件/年

「ひょうご防災ネット」  
防災行政無線、広報車等の既存情報伝達手段に加え、携帯電話のメールやホームページ機能を利用して、災害発生時等の緊急時に、緊急情報(地震情報・津波情報・気象警報)や避難情報等をいち早く県民・市民の方々に発信するシステム  
URL: [http://web.pref.hyogo.lg.jp/pa20/pa20\\_000000001.html](http://web.pref.hyogo.lg.jp/pa20/pa20_000000001.html)

②共助の取組の推進

災害時要援護者支援登録台帳等の整備、情報共有化の取り組みを継続実施(神戸市、尼崎市、西宮市、伊丹市、宝塚市、三田市、篠山市)

③公助の取組の推進

- 津波避難ビル指定・マップ作成、洪水時活用の推進(尼崎市、西宮市)
- 避難経路の屋外表示(西宮市、伊丹市)



広域避難地の表示 (西宮市)



避難所案内ステッカー (伊丹市)

**Check** 住民の的確な避難行動につながるよう、自助・共助・公助の取り組みを各主体の立場で推進した。

**Action** 今後も住民が安全かつスムーズに避難するための取り組みを推進していく。

**実施目標** 計画規模を上回る洪水が発生した場合の洪水被害を軽減させる。

**Plan** 【第1期計画】

水害に備えるまちづくりと水害からの復旧の備えを進める ~備える~

具体的施策：①水害に備えるまちづくりの誘導 ②重要施設の浸水対策 ③共済制度への加入促進

**Do** 【H27年度実績】

①水害に備えるまちづくりの誘導

- ・水防法改正を踏まえた浸水想定区域図の作成を検討（県）
- ・上階層への避難訓練（尼崎市）
- ・開発業者へのハザードマップ確認依頼（宝塚市）

②重要施設の浸水対策

「建物等の耐水機能に関する指針」による耐水化の促進



上層階への避難訓練（尼崎市）



屋上階自家発電設備（伊丹市）

③水害に備える共済制度の加入促進

フェニックス共済パンフレット



「フェニックス共済」  
（＝兵庫県住宅再建共済制度）  
は、住宅所有者に加入いただき、  
平常時から資金を寄せ合うこと  
により、災害発生時に被害を受  
けた住宅の再建・補修を支援す  
る制度

表. フェニックス共済の加入状況（平成28年3月末時点）

	目標	全県	うち流域市
加入率(%)	15%	9.3%	6.8%

**Check** 水害に備えるまちづくりのため、県・市とも様々な取組みを検討し、実施した。

**Action** 今後とも、県と市は水害に備える対策を幅広く検討し、実施していく。

水防法の一部改正（H27.11施行）を踏まえた浸水想定区域図の作成

**概要** 平成27年11月に水防法が改正され、従来の洪水に係る浸水想定区域について、想定し得る最大規模の洪水に係る区域に拡充されることとなった。

**背景**

近年、洪水のほか、内水・高潮により、現在の想定を超える浸水被害が、多発している。



H26. 8避難所2階の浸水（徳島県）



H27. 9関東・東北豪雨（栃木県・鬼怒川）

**水防法の改正と浸水想定区域図の見直し**

○従来の洪水に係る浸水想定区域について、想定し得る最大規模の洪水に係る区域に拡充して公表。



河川整備において基本となる降雨を前提

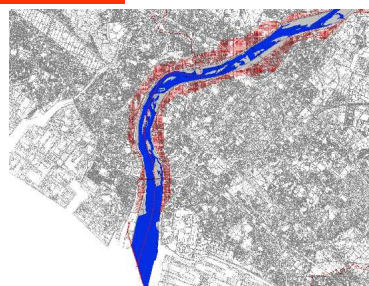


想定し得る最大規模の洪水に係る浸水想定区域

**洪水時家屋倒壊危険ゾーンの設定**

○洪水時に家屋が流失・倒壊等のおそれがある範囲を、家屋倒壊危険ゾーンとして公表。

○洪水時における屋内安全確保（垂直避難）の適否や、立ち退き避難（水平避難）のタイミングの判断等に活用されることが期待される。



家屋倒壊危険ゾーンの表示例（赤色メッシュ）

**方向性**

○想定し得る最大規模の洪水・内水・高潮に対する避難体制等の充実・強化を図る。

**実施目標** 合理的な水利用を促進し、より豊かな流量の確保に努める。

**Plan** 【第1期計画】

■流水利用の適正化

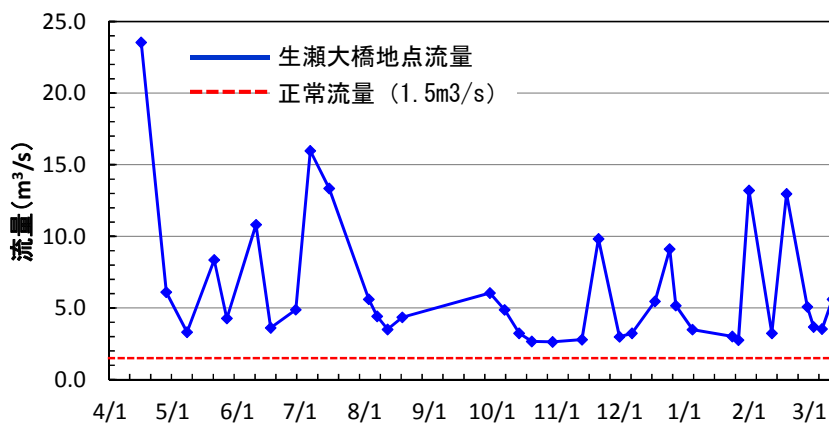
- ・取水実態の把握
- ・慣行水利権から許可水利権への切り替え

■適正な水利用の推進

- ・節水の啓発・水利用の合理化
- ・雨水・再生水利用の促進



**Do** 【H27年度実績】



**Check** 平成27年度については、正常流量1.5m³/sを確保できた。

**Action** 今後もより豊かな流量の確保に努める。

**実施目標**

- ・渇水時の被害の最小化
- ・震災などにおける河川水利用の円滑化

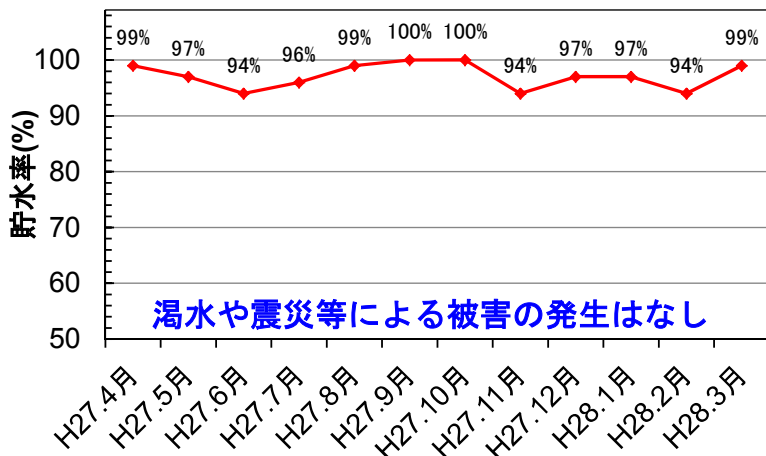
**Plan** 【第1期計画】

- ・渇水調整および広域的水融通の円滑化
- ・緊急時の河川水利用の円滑化

**Do** 【H27年度実績】

渇水調整会議、緊急時の河川水利用

青野ダムの貯水率 (平成27年度)



《参考》

給水ネットワークの整備



西宮市

現在の水需要においては、給水車等でバックアップが可能のため、当面、パイプライン等の新たな整備は着手しない。

**Check** 点検指標に該当する事案がなかったため未実施。

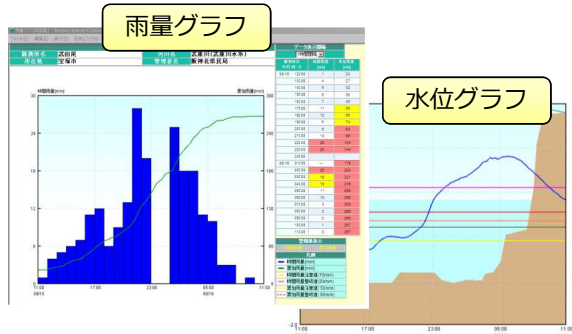
**Action** 今後、水需要の動向を踏まえ、必要に応じて整備を行う。

**実施目標** 森林、ため池の適正な管理や貯留浸透施設の整備により、健全な水循環を確保する。

- Plan** 【第1期計画】
- ・ 流域水循環把握に必要なデータの収集
  - ・ 森林、農地、ため池の整備や適正な管理（関係機関連携）
  - ・ 貯留浸透施設の整備（関係機関連携）

**Do** 【H27年度実績】

流域水循環の把握



雨量、水位、低水量、地下水位、県管理ダム貯水位等のデータを蓄積

森林、農地、ため池の整備  
や適正な管理

間伐・作業道の開設



ため池の維持管理



貯留浸透施設の整備

- ・ 道路側溝等の浸透化 約4.7km [累計171km]
- ・ 透水性舗装 標準仕様として適用 (H16年度より)

- Check**
- ・ 流域の水循環を把握するため、雨量、水位、ダム貯水位等のデータ収集に努めるとともに、関係機関と連携し健全な水循環の確保に努めた。

- Action**
- ・ 今後も健全な水循環を確保するため、流域水環境を把握するとともに地下水かん養および水循環に寄与する各事業を推進していく。

**実施目標** 多種多様な動植物が生息・生育できる豊かな自然環境の保全・再生を図る。

**Plan** 【第1期計画】 動植物の生活環境の保全・再生

①下流部築堤区間

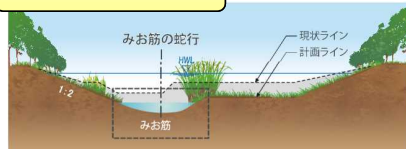
②上流部

干潟の創出



- ・ 移動性が低い生物の移植対策
- ・ みお筋の再生
- ・ ワンド・たまりの再生
- ・ 代償措置としての瀬
- ・ 瀬・淵の再生
- ・ オギ群集の再生
- ・ 淵やワンド等の創出

みお筋の再生



R型淵の再生



魚類等の移動の  
連続性確保  
(潮止堰の撤去に向けた地  
下水調査の実施等)



ワンド・たまりの再生



オギ群集の再生



**Do** 【H27年度実績】

オギ群集再生に向けた取り組み  
(現地表土の再利用)



- Check**
- ・ 専門家の意見を聴き「手引き」を策定(H25.3)し、下流部築堤区間、上流部の「川づくり計画図」を作成した。上流部では「川づくり計画図」に基づき河川改修を実施。

- Action**
- ・ 今後も引き続き、専門家の意見を聴きながら、自然環境の保全・再生に必要な対策を実施していく。



**実施目標** アユなど魚類にとってより望ましい川づくりに取り組む。

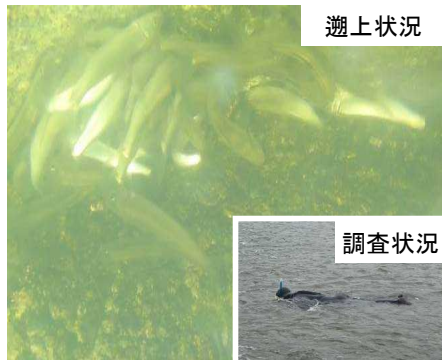
**Plan** 【第1期計画】 ・魚道の改善  
 ・みお筋、産卵場、稚魚期の生息場所の保全・再生

**Do** 【H27年度実績】

2号床止工魚道の改良



遡上状況の調査



アユの産卵場づくりの実施



**Check**

- ・アユの産卵場再生を継続して実施した。
- ・2号床止工において魚道の小規模改良を試験的に実施した。専門家からアユの遡上に効果的との意見を受けている。

**Action**

- ・天然アユが遡上する川づくりについては、引き続き、魚道改善や実態調査を実施するとともに、関係機関や住民との連携により産卵場づくり等に取り組んでいく。

**実施目標**

- ・自然景観を基調とした武庫川らしい景観を保全・創出する。(管理番号16)
- ・人と河川の豊かなふれあい及び適正な河川利用の確保。(管理番号17)

**Plan** 【第1期計画】 管理番号16

- ・自然景観を基調とした武庫川らしい景観の保全・創出
- ・治水上支障がない範囲での緑化修景
- ・樹木伐採を最小限とする河道計画、施工方法等の検討

**Plan** 【第1期計画】 管理番号17

- ・地域住民の多様な要請への対応
- ・河川利用の利便性の確保と自然を生かした水辺の創出や施設整備

自然を生かした水辺(干潟)の創出



**Do** 【H27年度実績】 (管理番号16)

植生の回復状況(H24施工箇所)



**Do** 【H27年度実績】 (管理番号17)

地域住民の多様な要請への対応



**Check**

- ・治水上支障の無い範囲で堤防法面の緑化など自然環境を基調とした武庫川らしい景観の保全・創出を実施。
- ・地元説明会や出前講座等を通じた広報に努め、地元の理解を得ながら、工事を実施。
- ・秩序ある水面利用については、不法係留等違法な水面利用は確認されなかった。

**Action**

- ・引き続き武庫川らしい景観の保全に配慮し、河川改修工事を実施していく。
- ・引き続き、地域住民の多様な要請への対応として地元説明会や出前講座等を開催し、地元の理解を得ながら事業を推進していく。

**実施目標**

- ・ 関係機関や地域住民と連携して、さらなる水の「質」の向上を図る。(管理番号18)
- ・ 適切な河川維持管理に取り組む。(管理番号19)

**Plan** 【第1期計画】


- ・ 下水道放流水のさらなる改善 (管理番号18)
- ・ 水質状況の的確な把握
- ・ 水生植物による浄化機能の向上

**Plan** 【第1期計画】

- ・ 「兵庫県河川維持管理計画」に基づく巡視点検を行い、必要に応じて維持・修繕工事、樹木伐採等を実施する。

**Do** 【H27年度実績】 (管理番号18)

水質汚濁防止法に基づき水質・底質調査を継続



水質調査

透明度調査

**Do** 【H27年度実績】 (管理番号19)

護岸補修の事例

樹木伐採の事例



施工前

施工後

かご護岸の滑落

かご護岸の積み直し 法尻に袋詰玉石の設置

**Check**

- ・ 下水道事業者と連携し水質の改善に取り組んだ。
- ・ 水質汚濁防止法に基づき公共水域の水質調査等を継続して実施。(健康項目は概ね環境基準を達成。生活環境項目は環境基準を達成。)

**Check**

- ・ 「兵庫県河川維持管理計画」に基づき、定期的に点検を行ない河川の状態を把握し、効果的・公立的な維持管理を実施。

**Action**

- ・ 水質調査については、関係法令に基づき、今後も継続して調査を実施していく。

**Action**

- ・ 今後も継続して河川の巡視点検等を行い、適正な維持管理に努める。

**実施目標**

適切な役割分担のもと、「参画と協働」による武庫川づくりに取り組む。

**Plan** 【第1期計画】

- ・ 参画と協働の推進
- ・ 情報発信、連携・交流の支援等の継続実施

**Do** 【H27年度実績】

第4回みんなで取り組む武庫川づくり交流会

ひょうごアドプト河川清掃活動



流域団体の活動報告



神戸市

宝塚市

現地体感バスツアー (武庫川流域)



青野ダム

**Check**

- ・ 地域住民との連携を支援・促進するためのさまざまな取り組みを適宜・適切に実施。

**Action**

- ・ 「地域共有の財産」である武庫川を守り育てるため、地域住民等、研究機関、流域市、県が適切な役割分担のもと、さらなる連携を進める。

**実施目標**

**治水・利水・環境の観点から河川の総合的な管理を行う。(管理番号21)**  
**河川整備計画の着実な推進(管理番号22)**

**Plan** 【第1期計画】 (管理番号21)

- ・ 定期的な観測によるデータの把握
- ・ 事業実施前後のモニタリング
- ・ 流量観測データの蓄積

**Do** 【H27年度実績】 (管理番号21)



- Check**
- ・ 雨量や河川水位等のモニタリング調査を継続的に実施。
  - ・ 流量観測(低水・高水)を継続的に実施。

- Action**
- ・ 必要な観測データを蓄積するとともに、住民等との情報共有に努めていく。

**Plan** 【第1期計画】 (管理番号22)

- ・ 河川整備の進行管理
- ・ フォローアップ委員会(懇話会)の設置
- ・ 流域住民との情報の共有

**Do** 【H27年度実績】 (管理番号22)



- Check**
- ・ PDACサイクルの考え方に基づく進行管理を実施し、懇話会に報告するとともに、地域住民等との情報の共有化を図った。

- Action**
- ・ 今後も懇話会からの意見を聴き、整備計画の次なる進行と改善に努めていく。